

福井の伝統的民家活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H17 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助								経過年数	18 年		
補助率	1/2等											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[4 安心を高める(地域力)]			関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]					[問題・課題を表す客観的データ]							
伝統的民家の価値を所有者自身が知らない、住み続けるには改修費用が大きく取り壊しが進行。また、観光客や移住者を呼び込む、福井らしい、地域の歴史・個性を生かしたまちづくりのためにも、伝統的民家の保存による美しい集落や町並み景観の維持・保全への継続した支援が必要					<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内の伝統的民家数約5,400棟 ・ 北国街道今庄宿（H23推進地区指定、13件の伝統的民家改修支援）が、令和3年度、国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定 							
[事業目的]												
福井の伝統的民家の保存および活用を推進し、市町が実施する伝統的民家や蔵などが集積する街並み景観の保全・活用に資する事業を支援することにより集落景観のレベルアップを図り、地域の個性に合った街並みづくりを推進する。												
[事業内容]												
<p>(1) 伝統的民家群保存活用推進地区（以下、推進地区）内での景観づくりに対する補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 伝統的民家の新築 外観の工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内（限度額800千円） ② 伝統的民家や土蔵、門、塀の改修 外観、構造体の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内（限度額1,500千円） ③ 一般建造物の修景 外観を街並みに調和させる工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内（限度額1,000千円） ④ 伝統的民家の空き家の活用 外観、構造体および内部の改修工事に補助する市町に対し、交流施設等への改修の場合、市町補助額の1/2以内（限度額3,000千円）、地域活性化に資する民間事業用途への改修の場合、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内（限度額3,000千円） ⑤ 景観づくり活動 街並みを活かした景観保全・景観づくり活動に補助する市町に対し、市町補助額の10/10（限度額200千円 地区指定後2年間のみ） <p>(2) ふくい棟梁講座（伝統工法の実技実習および講習）の支援（（一社）福井県建築組合連合会） 対象経費の1/2以内（限度額500千円）</p> <p>(3) 福井の伝統的民家認定表札加工および普及PRリーフレット作成</p> <p>(4) 福井の伝統的民家の普及啓発活動（日常の維持管理に関する講習会の開催）</p>												
[受益者] 伝統的民家所有者等						[想定される受益者数] 約5,400棟（県内の伝統的民家数）						
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井の歴史的建造物保存促進事業 他 (役割分担)				
市町との連携状況		<ul style="list-style-type: none"> ・ 市町が改修等を希望する所有者から申請を受ける ・ 県は、伝統的民家の改修等を支援する市町に対し補助を実施 				他県の状況						

福井の伝統的民家活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	H17 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助									H17 年度		
補助率	1/2等									経過年数 18 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	18,802				18,802							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		29,231	23,790	23,390	21,190	18,802	市町要望額、近年の実績件数を考慮し減額					
2月現計予算額の推移		18,061	13,010	17,334	12,860							
決算額の推移		16,599	12,508	16,750								
前年度までの主な増減理由	伝統的民家の改修等の件数は年々減少傾向にあり、過去実績、市町要望に合わせて予算を減額											
[成果指標等の推移]												
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	改修事業件数	(目標) (25)	(22)	(22)	(20)	(18)	(18)	(18)	18件/年の改修（市町要望および近年の改修実績による）			
		実績 19	15	24								
活動指標	推進地区指定数	(目標) (4)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2地区/年の指定			
		実績 4	2	2								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度、伝統的民家改修等を24件支援（R3より推進地区外への支援を廃止し、その駆け込み需要により増加） 令和2年度、伝統的民家群保存活用推進地区を2地区指定 				<ul style="list-style-type: none"> 過去5年の実績と、市町要望を考慮し、18件/年の改修費用を計上 空き家の改修の補助対象を拡大し、住宅以外の用途として伝統的民家が保全、活用される支援メニューを追加 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,388	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井の歴史的建造物保存促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H17 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助			事業 経過 年数					18 年			
補助率	1/2等											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [15 ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
地域の風景を維持し、観光客や移住者を呼び込む、地域の歴史・個性を生かしたまちづくりのためには、地域の核となる歴史的建造物を保存・活用することが必要						県内の歴史的建造物 485棟(福井の歴史的建造物)						
[事業目的]												
市町が実施する歴史的建造物の改修補助事業に対し支援を行い、歴史的建造物の保存およびまちづくりへの活用を促進する。												
[事業内容]												
<p>(1) 歴史的建造物のうち登録有形文化財建造物 外観および公開範囲の内装に関わる部位の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費から国費補助相当額を差し引いた額の1/2以内(補助限度額1,500千円)を補助</p> <p>(2) 上記以外の歴史的建造物(指定文化財を除く) 外観の改修工事に補助する市町に対し、市町補助額の1/2以内かつ対象経費の1/4以内(補助限度額1,500千円)を補助</p> <p>【福井の歴史的建造物とは】 (平成16年度に1,915件の建造物を調査し、内485件を「福井の歴史的建造物」として紹介) 原則として第二次世界大戦終結時までに建造され、下記の①～④のいずれかに該当するもので、県が歴史的建造物等活用推進会議の意見を踏まえ、ふるさとの象徴として保存継承していく価値があると認める建造物。ただし、指定文化財を除く。 ①地域の歴史を象徴するもの ②建築文化や生活文化を継承するもの ③民俗学的に価値のあるもの ④街並みおよび景観の整備に貢献するもの</p>												
[受益者] 歴史的建造物所有者(管理者)						[想定される受益者数] 485棟(福井の歴史的建造物)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井の伝統的民家活用推進事業 他 (役割分担)					
市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市町が改修等を希望する所有者から申請を受ける ・県は、歴史的建造物の改修等を支援する市町に対し補助を実施 					他県の状況	石川県、富山県はなし [佐賀県] 佐賀県遺産支援事業 佐賀県遺産に認定された建造物の外観保全に対し、対象経費1/2を補助(5,000千円限度)					

福井の歴史的建造物保存促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県、市町				事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業開始年度	H17 年度 経過年数 18 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営、補助													
補助率	1/2等													
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	2,500					2,500								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移		3,058	3,058	3,058	2,500	2,500								
2月現計予算額の推移		58	283	58	1,000									
決算額の推移		43	259	34										
前年度までの 主な増減理由	市町の要望による													
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	改修等事業件数	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2件/年の改修					
		実績	0	1	0									
活動指標	補助事業者数	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	2件市町/年の改修					
		実績	0	1	0									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
・改修実績1件 (R3) 計画見直しによる市町事業の延期				市町要望により、2件分の予算を計上				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

福井ふるさと百景活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町、景観づくり活動団体				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R7 年度
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10、1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [15 ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 福井には美しい景観が数多くあるが、それらを守っていく地域の担い手不足や資金不足等で、景観づくりが低迷している。また、景観を眺望する視点場の数も少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] ・景観保全活動団体数 59団体 ・視点場整備数 19箇所(とやま眺望点:30箇所)						
[事業目的] 福井の美しい景観を守り伝えていくために、「福井ふるさと百景」を活用し、地域団体が進める景観づくり活動を支援するなど、地域とともに景観づくりを推進する。												
[事業内容] (1) 景観づくり活動団体に対する補助 ・百景選定地におけるふるさと景観を守り育てていく景観づくり活動団体を支援する市町に対し補助 ・景観づくりのコーディネート業務等を実践でき、広域的に活動する景観づくり団体に対し補助 【補助率】10/10(補助上限額 200千円/年) 【事業期間】2年間 【補助対象】地域団体: 8団体(町並みを活かした花植えや夜間景観の演出などの景観づくり活動) (2) ビューポイント整備を実施する市町に対する補助 ・百景選定地の絶景ポイントや街並みなどを眺望できるビューポイント整備を行う市町に対し補助 【補助率】1/2(補助上限 1,000万円/箇所) 【補助対象】市町 (3) ふるさと景観の保全意識の普及・啓発の強化 ・百景選定地のビューポイントを広く募集するとともに、ホームページの充実を図るため、フォトコンテストを開催 (4) ふるさと福井景観づくり懇談会の開催 ・学識経験者、県民代表等で組織する「ふるさと福井景観づくり懇談会」を開催												
[受益者] 県内外からの観光客						[想定される受益者数] 10,000人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 福井ふるさと広域景観形成事業 (役割分担) ・福井ふるさと広域景観形成事業 豊かな自然や歴史、文化等、特徴ある福井らしい景観資源が集積し、優先的な景観施策の実施が望まれる6つの景観軸において、市町が行う景観形成を支援					
市町との連携状況	活動団体は市町に申請を行い、県は市町を通じて補助を実施				他県の状況		○普及・啓発 石川県・・・いしかわ景観大賞、俳句大会、景観教室、絵画コンクール、白山眺望スポットガイド作成、いしかわ景観づくりガイドブック作成 富山県・・・景観づくりフォーラムの開催、うるおい環境とやま賞、「ふるさと眺望点」の指定 ○審査会等 石川県、富山県・・・景観審議会を設置					

福井ふるさと百景活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県、市町、景観づくり活動団体				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R7 年度	
事業実施方法	直営、補助											
補助率	10/10、1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,627			(諸) 1,000	2,627	福井ふるさと百景ガイドブック売上 1000千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		3,487	4,690	3,606	3,120	3,627	フォトコンテスト実施による増額					
2月現計予算額の推移		2,637	4,690	2,139	2,850							
決算額の推移		2,398	4,526	1,698								
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ H30年度は、景観セミナー休止による減 ・ R元年度は、ガイドブック改訂による増 ・ R2年度は、景観セミナー休止による減 										
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	新たな景観づくり活動に取り組む団体数	(目標) (4) 実績 4	(4) 3	(4) 4	(4)	(4)	(4)	(4)	景観づくり団体認定4団体/年			
活動指標	ビューポイント整備箇所数	(目標) (2) 実績 1	(0) 0	(1) 0	(1)	(1)	(1)	(1)	ビューポイント整備1件/年			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 景観づくり団体を新たに4団体認定 ・ ビューポイント整備は、予定していた南越前町が次年度に計画を変更 				福井ふるさと百景をより多く知ってもらうため、フォトコンテストを開催				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

福井ふるさと広域景観形成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子								
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度							
事業実施方法	補助																		
補助率	1/2																		
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [15 ふるさとの暮らしと風景の維持]				関連する県の計画等		[]												
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]													
景観づくりについては各市町において行っているが、市町をまたぐ広域的な景観資源については、県が主導して保全・活用を行う必要がある。						福井ふるさと広域景観軸の一つである、北陸新幹線の視点場がない。 石川：新幹線が見える丘公園 富山：呉羽山公園、宮野運動公園、したがら散歩道													
[事業目的]																			
豊かな自然や歴史、文化等、特徴ある福井らしい景観資源が集積し、優先的な景観施策の実施が望まれる6つの景観軸において、市町が行う景観形成を支援する。																			
[事業内容]																			
<p>(1) 景観づくり・保全事業を実施する市町等に対する補助</p> <p>【事業内容】 県と構成市町が協議しながら、市町が進める視点場整備、植樹・植栽などの景観づくり事業や現在の景観をよりよく保全するために必要なハード事業を支援する。</p> <p>【補助率】 対象経費から国庫補助相当額を差し引いた額の1/2</p> <p>【補助上限額】 25,000千円/軸</p> <p>(2) 重要文化的景観魅力発信事業</p> <p>【事業内容】 福井市・越前町・南越前町が主体となり立ち上げた「越前海岸の水仙畑の文化的景観」に関する協議会による魅力発信事業を支援する。</p> <p>【補助率】 対象経費から国庫補助相当額を差し引いた額の1/2</p>																			
[受益者]						[想定される受益者数]													
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井ふるさと百景活用推進事業 (役割分担) 福井ふるさと百景選定地の景観を地域の力で守り育てていく景観づくり活動団体等を支援												
市町との連携状況	県と構成市町が内容等を協議し、事業を推進					他県の状況	・静岡県・・・「新静岡県景観形成ガイドプラン」9エリアの広域景観を設定、順次景観協議会を設立し、行動計画を作成、景観施策を実施 ・石川県・・・「いしかわ景観総合計画および眺望計画」白山の眺望景観の保全(建築物・工作物の高さ制限、色彩およびデザインの制限)												

福井ふるさと広域景観形成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度 H28 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	補助											
補助率	1/2											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	26,624					26,624						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	4 年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		24,213	16,726	32,176	14,065	26,624	各計画軸における事業計画に基づく増額					
2月現計予算額の推移		22,644	14,901	21,476	11,265							
決算額の推移		22,204	14,448	20,647								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ H30年度は、景観づくり・保全事業（2景観軸）の実施による増。 ・ R元年度は、1箇所当たりの事業費が減となったため。 ・ R2年度は、1箇所当たりの事業費が増となったため。 ・ R3年度は、1箇所当たりの事業費が減となったため。 										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2 年度	3 年度	4 年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	広域景観軸での事業実施 軸数	(2)	(4)	(6)	(5)	(4)	(6)	(6)	事業計画をもとに事業実施			
	実績	2	4	6	5							
活動指標	広域景観軸での事業計画 策定件数	(3)	(1)	—	—	—	(6)	(6)	市町と内容等を協議し事業計画策定			
	実績	3	1									
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5つの景観軸において、景観づくり・保全事業を実施 ・ 国の重要文化的景観に選定を受け、現地の案内板や視点場の整備、福井市・越前町・南越前町が立ち上げる協議会の魅力発信事業について支援 				国の重要文化的景観となった越前海岸水仙畑の魅力発信事業（国庫補助）について支援				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

フレンドリーアート推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H15 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを上げる(創造力)] 政策 [文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 嶺北にある文化施設へ来場しようとする、嶺南在住の方の利便性向上を図ること とで、嶺南・嶺北の文化交流の機会を拡大する。						[問題・課題を表す客観的データ] 利用者数 平成30年度 音楽堂行138名(平均27名) 文化施設行156名(平均26名) 令和元年度 音楽堂行 86名(平均17名) 文化施設行 94名(平均15名) 令和2年度 音楽堂行 28名(平均 7名) 文化施設行 33名(平均 5名) コロナによる減便						
[事業目的] 嶺北にある文化施設へ来場しようとする、嶺南在住の方の利便性向上を図ること とで、嶺南・嶺北の文化交流の機会を拡大する。												
[事業内容] 嶺南地域の各市町を經由し、各文化施設へ向かう無料送迎バス「フレンドリーアート号」を運行する。 (年間12便) (1) 乗降場所(嶺南6市町8か所) ①JR若狭高浜駅(高浜町) ②おおい町役場(おおい町) ③若狭歴史博物館(小浜市) ④上中庁舎(若狭町) ⑤三方庁舎(若狭町) ⑥美浜町役場(美浜町) ⑦敦賀合同庁舎(敦賀市) ⑧JR敦賀駅(敦賀市) (2) 訪問文化施設 ①県立音楽堂 ②県立美術館 ③県立歴史博物館 ④一乗谷朝倉氏遺跡資料館 ⑤県立恐竜博物館 など ※人気のある県立音楽堂、恐竜博物館行便は従来通り実施し、その他訪問先文化施設はふくいのミュージアム連携事業の成果を反映												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

フレンドリーアート推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	H15 年度 経過年数 20 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費		国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	1,307						1,307									
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移			1,636	1,330	1,426	1,283	1,307									
2月現計予算額の推移			1,636	1,330	1,426	922										
決算額の推移			1,636	1,096	1,276											
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ H28年度は、移動美術館のスクラップのため、減額 ・ H29年度は、バス単価増のため、増額 ・ R元年度は、バス定員見直しのため、減額 ・ R2年度は、利用ニーズによりバス運行回数増便 ・ R3年度は、利用者数の減少により減便 														
[成果指標等の推移]																
区 分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	送迎バス利用者数	(目標)	(432)	(256)	(256)	(256)	(240)	(240)	(240)	音楽堂行(中型6便) 文化施設行(小型4便、中型2便)						
		実績	295	180	61											
活動指標	送迎バス運行台数	(目標)	(12)	(14)	(14)	(14)	(12)	(12)	(12)	運行台数12台/年						
		実績	11	10	10											
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
R2実績 バス利用者 61名(音楽堂行 28名、文化施設行 33名) バス運行台数 10台(音楽堂行 4台、文化施設行 6台) ※コロナ感染拡大により3台(音楽堂行)運行中止					利用者数目標が達成できなかったのは、文化施設の内容との関連があるため、バス運行を減便しコース内容を精査して、成果指標の達成を目指す。				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額				
									■ 継続	□ 休止	□ 完了					
									□ 整理統合	□ 廃止	□ その他					

日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる] 政策 [文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 全国で唯一、戦国期の城下町がそのまま残る他に類例のない一乗谷朝倉氏遺跡のガイダンス施設として、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、遺跡の価値や魅力を国内外に強力に発信し、観光誘客につなげる						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数（観光統計） H30：723千人 R元：1,057千人 R2：851千人						
[事業目的] 全国の中世都市遺跡研究の拠点、遺跡観光のゲートウェイとなる博物館の整備などを進め、遺跡全体のレベルアップを図る												
[事業内容] (1) 一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）の整備 ・「展示・ガイダンス棟」の建築・展示工事等（令和元～3年度） ・建設予定地周辺の土木工事（平成30～令和4年度） ・駐車場用地取得（令和2～） ・「調査・研究、収蔵棟」改修（令和2～3年度） (2) 開館に向けた整備等 ・備品等の整備（令和3～4年度） ・収蔵資料の再配置（令和3～4年度）												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 87650人（令和2年度実績）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）開館記念事業 （役割分担） 開館後、記念式典や特別展、重点広報などを実施する					
市町との連携状況	・建設予定地周辺の土木工事について、福井市から負担金を受け入れ ・博物館の運営体制を含めた遺跡の観光活用事業等について、福井市と協議を実施					他県の状況						

日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H27 年度 経過年数 8 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	613,634	148,088	102,000			363,546	国庫：地域の特色ある埋蔵文化財活用事業費国庫補助 起債：公共事業等債 等					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		195,654	152,922	1,333,753	3,103,173	613,634	建築工事・展示工事の完了による減					
2月現計予算額の推移		189,547	152,922	1,332,471	3,102,546							
決算額の推移		186,392	149,342	1,330,157								
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度は、「展示・ガイダンス棟」の展示基本設計を実施 ・H29年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築基本設計、展示実施設計（その①）、博物館周辺を含む全体設計を実施 ・H30年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築実施設計、展示実施設計（その②）、建設予定地周辺の土木工事を実施 ・R元年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築工事、展示工事、建設予定地周辺の土木工事を実施 ・R2年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築工事、展示工事、建設予定地周辺の土木工事、「調査・研究、収蔵棟」（現資料館の改修）の設計を実施 ・R3年度は、「展示・ガイダンス棟」の建築工事、展示工事、建設予定地周辺の土木工事、「調査・研究、収蔵棟」（現資料館の改修）工事を実施 										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡資料館 来館者数	(目標) 64,718	(70,000) 88,460	(90,000) 87,650	(45,000) 21,093	(200,000)	(200,000)	(200,000)	現資料館来館者数 前年度以上 新博物館来館者数 20万人/年			
活動指標	指導実施日数	(目標)	(15)	(15)	(15)	(15)	—	—	専門家からの指導：15回以上/年			
		実績	16	22								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・「展示・ガイダンス棟」建築工事および展示工事を実施 ・現資料館来館者数については新型コロナウイルスの影響により伸び悩んだ 				令和4年10月の開館に向けて、引き続き博物館の整備などを進める。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる] 政策 [文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 戦国期体験メニューの常時提供、AR等デジタル技術の導入 ・ 山城見学環境の改善 ・ 遺跡案内ガイドの養成・配置等の整理 						<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺跡案内ガイド数25人 (R2) 						
[事業目的]												
北陸新幹線福井延伸や東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、日本で唯一戦国城下町の遺構が手つかずのまま残る「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡」を積極的に活用し、国内外への発信の強化、案内サービスの一層の充実を図ることで、遺跡への誘客を促進する。												
[事業内容]												
(1) 山城の観光活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山城案内ボランティアの養成・活動経費 (2) 山城を含めた遺跡内アクセス環境の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山城登山道アクセス環境の整備 ・ 遺跡内無料周遊バス「朝倉ゆめまる号」の運行 ・ 山城案内ボランティアの養成 (3) 案内・サービスの充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ 来訪者のスマートフォンやタブレット端末などを使った案内 ・ 遺跡内案内ボランティアなどによる案内サービスの充実 (4) 戦国城下町生活再現の実施												
[受益者]						[想定される受益者数] 850,735人 (令和2年度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業 (役割分担) 朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業では、令和4年10月の「一乗谷朝倉氏博物館(仮称)開館」、令和5年の北陸新幹線福井開通など大きな契機を迎えるにあたり、令和2年度～令和6年度の5年間にわたり観光客の受入環境整備を強化する。					
市町との連携状況	県と福井市が一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会の構成員となっており、協働して実施。					他県の状況						

一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務区分	■ 自治事務	事業区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H16 年度 経過年数 19 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	負担金											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	7,000					7,000						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000							
2月現計予算額の推移	7,000	7,000	7,000	7,000								
決算額の推移	7,000	7,000	7,000									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者 (目標)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	遺跡来訪者数100万人を目指す			
	実績	722,200	1,056,679	850,735								
活動指標	案内ボランティア活動人数 (目標)	(20)	(20)	(20)	(20)	(20)	(30)	(30)	案内ボランティア登録30人			
	実績	22	22	25								
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・25人のボランティア登録を維持し、休日に2~4人の遺跡案内ボランティアを配置 (R3) ・新型コロナウイルスの影響もあり、成果指標は達成できなかった。 				新博物館開館や新幹線開業なども控えているため、遺跡現地においても誘客を強化し、成果指標達成を目指す。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連携研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営			事業経過年数					3 年			
補助率												
福井県長期ビジョンにおける位置付け	分野 [] 政策 []				関連する県の計画等		[福井県観光新戦略]					
[解決すべき問題・課題] 令和元年12月に締結した国立文化財機構奈良文化財研究所との協定に基づき連携研究を実施し、劣化の進む一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立することにより、遺跡を確実に保存し、露出展示を続けていく必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数（観光統計） H30：723千人 R元：1,057千人 R2：851千人						
[事業目的] 特別史跡・特別名勝である一乗谷朝倉氏遺跡を永続的に保存・活用し続け、さらには全国の史跡・名勝等の保存・活用に貢献する。												
[事業内容] 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所との共同研究協定締結し、保存技術の確立を目指す。 ・奈良文化財研究所の研究員等からの指導 ・解析用データの取得（水位変動、気象観測、石材強度、石材硬度等）												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 1,057,000人（令和元年度実績）						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」化推進事業 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名（日本トップレベルの中世都市遺跡研究の拠点化推進事業） （実績） （～H31） ・気象観測等データ取得 ・劣化状況記録					関連事業の有無・役割分担		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名（役割分担）				
市町との連携状況						他県の状況						

一乗谷朝倉氏遺跡の保存技術の確立に向けた連携研究事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度	
事業実施方法	直営									R2 年度			経過年数
補助率										3 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	25,811	12,905			12,906	地方創生推進交付金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				17,178	21,883	25,811	調査・研究の本格化に伴う増						
2月現計予算額の推移				16,289	21,883								
決算額の推移				13,252									
前年度までの主な増減理由	R3年度より本格的な調査・研究に伴う備品費の増および奈文研職員の来訪頻度の増加による旅費の増												
[成果指標等の推移]													
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者数	(目標)		(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	遺跡来訪者数100万人				
		実績		850,735									
活動指標	調査項目数	(目標)		(8)	(8)	(8)	(8)	(8)	調査項目数：8項目/年				
		実績		8	8								
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
解析用データの取得（水異変づ、気象観測、石材強度、石材硬度等）を進めた。				保存技術の確立を目指し、引き続き調査・研究を実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子			
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度			
事業実施方法	負担金												□ 法定受託事務	□ 補助金	■ その他
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる] 政策 [文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外の観光客に対する受入環境が不十分である。 ・ 来訪者の周遊導線を意識しながら、遺跡案内の充実、交通手段の魅力向上等により観光地としての受入環境を整備し、滞在時間を延長させる。 						一乗谷朝倉氏遺跡復原町並見学者数 114,978人 (R2)									
[事業目的]															
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年5月、国において、博物館等文化施設を中核に周辺地域の観光を推進する「文化観光推進法」が施行 ・ 併せて創設された国の補助を活用して朝倉氏遺跡の受入環境を整備、誘客を拡大 															
[事業内容]															
<p>(1) 最新技術による遺跡案内 AR等を導入することにより、歴史知識のない来訪者も魅力を体感できる環境を整備。来訪者層を若い層に拡大 ポータルサイトにより、遺跡および博物館の見学案内・予約機能の集約、最新情報の一元化を行い、見学者の利便性を向上させる [事業計画・年次] R2：導入計画 R3～4：AR等制作 R4：AR追加コンテンツ制作・ポータルサイト開発</p> <p>(2) 交通手段魅力向上 アテンダントによる新博物館と遺跡のツアーを行う周遊バスを導入することによって、遺跡周遊を促進する 山城バスのリニューアルをすることによって、交通機関利用者の満足度向上を目指す [事業計画・年次] R3：ゆめまる号リニューアル R4：博物館～遺跡ツアーバス導入、山城バスラッピング</p> <p>(3) 滞在時間延長 一乗谷朝倉氏遺跡を中心として周辺観光地、福井市全体を周遊してもらえるような割引クーポンの開発を行う [事業計画・年次] R3：体験用施設改修 R4～6：割引クーポン開発</p>															
[受益者]						[想定される受益者数]									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業 (役割分担) 一乗谷朝倉氏遺跡活用推進事業では、魅力発信強化のための活動を持続的に行っているが、一乗谷朝倉氏遺跡受け入れ環境整備事業では、新博物館開館や北陸新幹線福井開通に向け、令和2～6年度の5年間にわたり、受入環境整備を強化して行う。							
市町との連携状況	県と福井市が一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会の構成員となっており、協働して実施。					他県の状況									

一乗谷朝倉氏遺跡受入環境整備支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	負担金											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	8,000					8,000						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移					10,000	8,000	令和4年度は一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）開館前の半年で整備できる事業および誘客拡大に向けた事業を実施予定であるため、予算が減額					
2月現計予算額の推移				2,984	10,000							
決算額の推移				2,984								
前年度までの 主な増減理由	一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）開館に向け、受入環境整備に係る主な事業は令和3年度に実施したため、令和3年度の予算が増額											
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡来訪者数 (目標) 実績			(1,000,000) 850,735	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	(1,000,000)	遺跡来訪者数100万人を目指す			
活動指標	観光団体、地元団体、関係事業者との協議回数 (目標) 実績			(5) 5	(5)	(5)	(10)	(10)	協議回数10回を目指す			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
新型コロナウイルス感染症の影響により、県内各施設の来訪者が激減する中、一乗谷朝倉氏遺跡は大河ドラマの放映効果により、ほぼ同程度の水準を維持				引き続き、遺跡案内の充実、交通手段の魅力向上等により観光地としての受入環境を整備				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）開館記念事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			事業終了年度					R4 年度			
補助率				経過年数					1 年			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる] 政策 [文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 全国で唯一、戦国期の城下町がそのまま残る他に類例のない一乗谷朝倉氏遺跡のガイダンス施設として、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、遺跡の価値や魅力を国内外に強力に発信し、観光誘客につなげる						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数（観光統計） H30：723千人 R元：1,057千人 R2：851千人						
[事業目的] 令和4年10月の新博物館開館に向けて、日本最大の戦国城下町「一乗谷ミュージアム」を県内外に発信する												
[事業内容] (1) プレ展示 開館までの間、資料館エントランス等を活用して展示を行い、切れ目なく遺跡の魅力を発信する (2) 開館記念式典、記念特別展の開催 開館にあわせ、記念式典や記念特別展を開催する (3) 重点広報事業の実施 開館に向けた機運醸成と情報発信を図るため、積極的な広報活動を展開 (4) 越美北線戦国列車の運行 開館にあわせ、越美北線の車両や駅舎を装飾し、戦国時代の雰囲気味わえる列車を運行させる												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 87650人（令和2年度実績）						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 「一乗谷ミュージアム」化推進事業 (役割分担) 新博物館の整備を行う					
市町との連携状況	遺跡の魅力発信について、福井市と連携して実施					他県の状況						

一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）開館記念事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	71,876			(使) (諸) 27,295	44,581	観覧料 25,434千円、戦国列車利用料 1,861千円								
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						71,876								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡博物館 来館者数	(目標)				(100,000)	(200,000)	(200,000)	新博物館来館者数 20万人/年					
活動指標	特別展の開催	(目標)				(1)	(1)	(1)	特別展を年1回以上開催					
	実績													
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）DX推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる] 政策 [文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題] 全国で唯一、戦国期の城下町がそのまま残る他に類例のない一乗谷朝倉氏遺跡のガイド ダンス施設として、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、遺跡の価値や魅力を国内外に 強力に発信し、観光誘客につなげる						[問題・課題を表す客観的データ] 一乗谷朝倉氏遺跡見学者数（観光統計） H30：723千人 R元：1,057千人 R2：851千人									
[事業目的] 世界中のどこからでも一乗谷朝倉氏遺跡の歴史や文化を見て学ぶことができる、ポストコロナに対応するデジタルミュージアムとしての機能を整備し、遺跡観光の ゲートウェイとなる新博物館の情報発信力を強化する															
[事業内容] (1) 一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）Free Wi-fi環境整備 新博物館内において、博物館や遺跡、観光情報等に容易にアクセスできるFree Wi-fi環境を整備する (2) 一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）ホームページ制作事業 ユーザーの目を引くデザイン、SNSとの連携、資料検索データベースなどを整備し、情報発信力を強化する															
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数] 851千人（令和2年度実績）									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 「一乗谷ミュージアム」化推進事業 (役割分担) 新博物館の整備を行う							
市町との連携状況	遺跡の魅力発信について、福井市と連携して実施					他県の状況									

一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）DX推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金					
補助率						□ その他			□ その他					
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	11,099				11,099									
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						11,099								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	一乗谷朝倉氏遺跡博物館 来館者数	(目標)				(100,000)	(200,000)	(200,000)	新博物館来館者数 20万人/年					
活動指標	HP作成	(目標)				(1)	(1)	(1)	HP作成件数 1件/年					
		実績												
		実績												
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくい県民総合文化祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県内芸術文化活動団体				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	H18 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助								事業 経過 年数	17 年		
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [] 政策 []				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 芸術文化活動に取り組む団体の高齢化が進み、後継者がいないため活動休止となる団体が増加、県民が芸術文化活動に参加し、ふくいの芸術文化活動の継承と芸術文化の発展につなげるため、参加型の芸術文化フェスティバルを開催する芸術文化団体の活動を支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数（内閣府） 9.1件／人口（45位／47都道府県）						
[事業目的] 県民一人ひとりの積極的な参加により、多様な文化の発表、活動、交流、観賞を行う「参加型」のフェスティバルを県内各地で開催し、多くの県民に身近にふくいの芸術文化に親しむ機会を提供する。												
[事業内容] 「ふれあいフェスティバル」の開催 「福井県総合美術展」および「福井県音楽コンクール」をメインフェスティバルとし、各分野において県域で活動する団体が行う発表、活動、交流等に要する事業費に対し補助 ①補助対象者 県域で活動する芸術文化活動団体 ②補助対象となる分野 吹奏楽、オーケストラ、マ칭バンド・バトントリング、合唱、オペラ、邦楽、太鼓、大正琴、演劇、人形劇、洋舞、日本舞踊、能楽、民謡民舞、吟詠剣詩舞、茶道、華道、生活文化、美術、文芸、民俗芸能 ③補助率 1／2以内												
[受益者] 芸術文化活動団体および各種分野の発表会、体験教室に参加する県民						[想定される受益者数] 5,517人（R2年度実績）						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担		□ 無 ■ 有 事業名 芸術団体文化活動活性化事業 (役割分担) ・芸術団体文化活動活性化事業 (一社) 福井県文化協議会とその会員団体が共催する事業への補助				
市町との連携状況						他県の状況		【石川県】 ・文化活動支援事業（いしかわ県民文化振興基金） 文化活動団体への助成 【富山県】 ・富山県芸術文化振興基金事業 文化活動団体への助成				

ふくい県民総合文化祭開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子				
事業主体	県内芸術文化活動団体				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	□ 実行予算	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数 17 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度			
事業実施方法	補助												□ 法定受託事務	■ 補助金	□ その他
補助率	1/2														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等									
予算額	7,500				7,500										
[予算額の推移等] (単位：千円)															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移		10,100	9,000	8,100	8,100	7,500	新型コロナ対策経費分見直しによる減								
2月現計予算額の推移		10,100	9,000	3,092	6,886										
決算額の推移		10,047	9,330	2,728											
前年度までの 主な増減理由	30年度、令和元年度に補助事業実施団体数の見直し														
[成果指標等の推移]															
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	参加人数（観客者数含む）	(目標) 21,390	(26,000) 25,946	(26,000) 5,517	(26,000)	(26,000)	(26,000)	(26,000)	ふれあいフェスティバル参加人数26,000人						
活動指標	助成団体数	(目標) 24	(23) 25	(23) 13	(23)	(23)	(23)	(23)	助成23団体/年						
[事業の評価]															
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価							
コロナ禍による実施団体減により目標未達成				引き続き、文化団体への支援を通して、県民が文化活動に親しむ機会を提供する				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額				
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	600				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他					

ふくい文化の担い手育成プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度 経過年数 12 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [] 政策 []				関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題] 芸術文化に親しむ環境整備が必要						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数（内閣府） 9.1件/人口（45位/47都道府県）								
[事業目的] 音楽堂や美術館、博物館などの文化施設を利用し、子どもの文化に触れる機会を増やすとともに、一流のアーティストの指導を受ける場を提供し、福井の文化の担い手を育成する。														
[事業内容] (1) 子どものための音楽鑑賞推進事業 ①ふるさと子どもコンサート…幼児・小学校低学年の生徒を対象とした、地域の演奏家等による親しみやすいコンサート (2) 若手アーティスト育成事業 ①ヤングアートキャンプ…中・高校生の文化部の生徒を対象として一流の芸術家が指導 (3) 博学連携「スクールミュージアム」 ①キッズミュージアム…美術館・博物館で子どもが創作したり、体験したりしながら学ぶ ②学校鑑賞会…学校鑑賞会や出前授業を通して、子どもが本物に触れる機会を充実させる														
[受益者] 幼児、小学生、中学生、高校生						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 子どものための文化芸術促進事業 (実績) ・公立文化施設等で伝統芸能、室内楽、合唱等を鑑賞する「芸術鑑賞教室」 ・子どもの日頃の文化活動の成果を発表する「子ども文化祭」等					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況	・ふるさと子どもコンサートは、市町と共催で実施					他県の状況								

ふくい文化の担い手育成プロジェクト

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	H23 年度	事業終了予定年度(見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	直営									H23 年度			経過年数
補助率										12 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	3,882					3,882							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移	49,436	50,271	49,821	50,300	3,882	事業内容の整理による減額(ふれあい文化子どもスクール、ふるさと子どもコンサート(音楽堂)、未来の音楽人材育成事業)							
2月現計予算額の推移	49,436	50,271	28,306	50,610									
決算額の推移	49,351	50,047	28,225										
前年度までの主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・ R2年度は、出張音楽堂の実施回数減による減額 ・ R3年度は、コロナ対策のかかり増し経費の増額 												
[成果指標等の推移]													
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	一流の芸術・文化を体験する子どもの数 (目標)	(11,000)	(11,000)	(11,000)	(11,000)	(11,000)	(11,000)	(11,000)	ふるさと子どもコンサート、ヤングアートキャンプ、スクールミュージアム参加者数				
	実績	11,105	10,551	5,216									
活動指標	事業実施回数 (目標)	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	(80)	ふるさと子どもコンサート、ヤングアートキャンプ、スクールミュージアム実施回数				
	実績	138	120	76									
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
一流の芸術・文化を体験する子どもの数 5,216人 (R2)				音楽堂で実施する事業については、(公財)福井県文化振興事業団が主体的に実施していくこととし、各地域で実施する事業については、県が引き続き進めていく。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	46,418		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

芸術文化を感じる街ふくい創出事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			経過年数					3 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
<p>これまでの芸術文化活動は、主にホールなど施設の中で発表・鑑賞されており、広く一般の県民の鑑賞機会が少なかった。そこで、芸術文化に馴染みのない県民にも芸術文化に親しむことができる環境をつくる必要がある。</p>												
[事業目的]												
<p>まちかどミニコンサートを実施することより、普段の生活の中で文化を感じられる環境づくりを推進する。また、本格的なオーケストラコンサートを鑑賞する機会の少ない嶺南地域においてプロオーケストラによる公演や美術作品の展示を実施し、芸術文化の鑑賞機会を提供する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 駅などのオープンスペースにおいて、県内ゆかりのアーティストによるまちかどミニコンサートの開催（各市町1回/年、無料） 会場：各市町の駅や公園 等 音楽の祭日（6月21日：夏至の日）に、ハピテラスにおいてミニコンサートの実施</p> <p>(2) 嶺南の文化施設においてオーケストラコンサートの開催および美術作品の展示（2回/年、有料） 会場：R2年度…敦賀市、若狭町 R3年度…美浜町、高浜町 R4年度…小浜市、おおい町 コンサートにあわせ、優れた美術作品の展覧会を開催</p>												
[受益者] 嶺南地域および嶺北周縁地域の県民						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	実施地域の市町の共催、広報紙での広告					他県の状況						

芸術文化を感じる街ふくい創出事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営									R2 年度 経過年数		
補助率										3 年		
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	42,126			(諸) 340	41,786	入場料340千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移			43,935	42,186	42,126							
2月現計予算額の推移			43,935	42,186								
決算額の推移			43,859									
前年度までの 主な増減理由												
[成果指標等の推移]												
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	コンサート来場者数	(目標) -	(実績) -	(1,520) 2,666	(1,010)	(1,010)	(1,010)	(1,010)	まちかどコンサート：30人×17会場 オーケストラコンサート：250人×2会場			
活動指標	コンサート実施数(回)	(目標) -	(実績) -	(32) 36	(19)	(19)	(19)	(19)	まちかどコンサート：17回/年 オーケストラコンサート：2回/年			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価			実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
コロナ禍を踏まえ、まちかどコンサートの実施場所をオープンスペースから身近な屋内会場で実施したが、成果指数、活動指数ともに目標達成できた			まちかどコンサートは、コロナの感染状況やアーティストの演奏環境を考慮しながら、出来るだけ街なかで芸術文化を感じられるような場所を実施していく				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
							<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
							<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

まちかど幸福ピアノ設置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			経過年数					3 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 街の中に芸術文化に触れる空間が少なく、文化活動の練習や発表の場を創出することが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 学校等で使われなくなったピアノを、えちぜん鉄道福井駅待合室に、誰でも、自由に、いつでも弾くことができる「まちかど幸福ピアノ」として設置し、演奏者も聴く人も駅に降り立った瞬間から文化の香りを実感できるような空間を創出する。												
[事業内容] ・ピアノの維持管理 調律(夏、冬) 外装クリーニング												
[受益者] 県内外の観光客						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

まちかど幸福ピアノ設置事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務							事業 区分
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	254					254							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移				506	254	254							
2月現計予算額の推移				506	254								
決算額の推移				112									
前年度までの 主な増減理由	R3 ピアノ1台分の管理費へ減												
[成果指標等の推移]													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	ピアノの利用日数 (目標) 実績			(365) 365	(365)	(365)			1日1回以上利用されることを目標				
活動指標	ピアノの調律回数 (目標) 実績			(2) 2	(2)	(2)			夏と冬にピアノの調律を実施				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
利用者数：約15人/日				地元企業と連携し、ピアノに装飾を行うなど、まちかどピアノがより利用されるよう工夫していく				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

若手アーティスト活動支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題] 芸術文化が豊かな生活や地域づくりに必要不可欠と認識されているが、広く一般に浸透していないため、様々な芸術文化を横断的に支援し、活動を応援することが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)								
[事業目的] 若手アーティストの活動を支援することにより、芸術文化を通じた豊かな地域づくりを進める。														
[事業内容] (1) 若手アーティストの作品展示によるまちなかのギャラリー化 (R2~4年度) レストラン等オーナーの協力により店舗内で展示・販売。参加店舗・アーティストは公募 [参加店舗] R3年度~ 100店舗 [参加アーティスト] 30人 [仕組み] ・作品は購入可とし、ファン拡大と創作資金を応援。民間(マスコミ等)の参画を求め、タイアップ記事掲載などの協力を得る。 ・協議会は、登録料(1,000円)と作品売買手数料(売上の3割)を徴収し、自立化を図る。 (2) 人材育成事業 民間が主体となってアートを様々な世代や立場の人とつなげるアート・コミュニケータを養成する。														
[受益者] 県内の文化活動団体等						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

若手アーティスト活動支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R4 年度	
事業実施方法	直営									R2 年度			経過年数
補助率										3 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	1,418			(諸) 389	1,029	(一財) 地域創造助成金							
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移		—	—	—	1,335	1,418							
2月現計予算額の推移				5,530	1,335								
決算額の推移				5,028									
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	若者グループ登録数 (目標)			(4)	(10)	(16)	(16)	(30)	文化活動を行う若者グループ数				
	実績			5									
活動指標	事業実施数 (目標)			(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	まちなかのギャラリー化、人材育成				
	実績			2									
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
福井市、越前市のレストラン等において若手作家の作品を展示				コロナ禍で飲食店側が自らの営業のみで精いっぱいな状況が続いており、活動に協力していただける店舗が増えていない状況にあるので、対象を飲食店・ホテル以外にも拡大していく				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

みんなのまちなかステージ設置支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営			経過年数					2 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
街の中に芸術文化に触れる空間が少なく、文化活動の練習や発表の場を創出することが必要となっている。						「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的]												
まちなかで誰もが芸術文化活動を発表できる簡易なステージを開放する民間の活動を支援し、気軽に芸術文化に触れる機会を増やす。												
[事業内容]												
(1) まちなかステージ設置・運営に対する支援 音楽やダンス、演劇、アートなど、様々なジャンルの芸術文化活動発表のため、学生、プロ・アマ問わず、誰もが利用できる「まちなかステージ」の設置を支援 <利用方法等> ・事前登録・申込制 ・利用無料 ・内容が芸術文化振興に資すること(営業行為を除く) <設置場所> ・R3 福井市：アップルロード(毎日曜)、西武福井店本館1階 正面入口前(毎土曜)、ハピテラス(毎木曜) ・R4 県内4市町のまちなか交流施設、公園等に新たに1か所ずつ設置し、年1回の企画ステージを開催 (2) ストリートカルチャー活動支援 ① 日常的なまちなかステージ利用促進のため、若い世代に愛好家が多いストリートカルチャーの活動を支援 ② ①の集大成として、駅前ストリートカルチャー・フェスを開催(会場：福井駅周辺)												
[受益者] 県内外の文化芸術団体						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

みんなのまちなかステージ設置支援事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	11,097				11,097									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由								
当初予算額の推移					11,097	ステージ数拡充、企画ステージの新規実施による増								
2月現計予算額の推移			6,500											
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由	R3年度当初予算をR2年度補正予算に前倒し													
[成果指標等の推移]														
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠						
成果指標	ステージの利用回数 (目標) 実績			(50) 67	(110)	(110)	(110)	ステージ開放日に1回(1組)の利用						
活動指標	看板、ステージの制作 (目標) 実績			(3) 3	(7)	(7)	(7)							
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
コロナの感染拡大による中止期間等もあり、成果指標は未達成見込み				ステージ設置箇所を県内で拡大するとともに、企画ステージを新たに開催し音楽ジャンルにとどまらない利用促進を図る。				<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

若手美術家育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 多くの美術ファンが集う都内で若手美術家の創作活動が発表できる機会はなく、優秀な作家であっても発信力に欠けているため、全国発信するツールが必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 平成27年国勢調査 県の職業別就業者数 小分類「美術家、デザイナー、写真家、映像撮影者」1,500人／399,450人						
[事業目的] 本県ゆかりの若手美術家の首都圏における発表機会を創出し、全国発信を応援する。												
[事業内容] 首都圏において、若手美術作家が初めて開催する個展を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出展する本県ゆかりの若手美術家を公募 (2枠) ・ 学芸員資格保有者などの美術に精通している委員で構成する審査委員会により、出展作家を選定 ・ 会場使用料、広報費、企画料などを県が負担 会期 2週間程度 (1枠当たり1週間)												
[受益者] 本県ゆかりの若手美術家						[想定される受益者数] 6名 (3年間)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

若手美術家育成事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)	R5 年度	
事業実施方法	直営									R3 年度			経過年数
補助率										2 年			
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	2,452				2,452								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移						2,452	審査にかかる経費の増額						
2月現計予算額の推移				1,885									
決算額の推移													
前年度までの主な増減理由	R3年度当初予算をR2年度補正予算に前倒し												
[成果指標等の推移]													
区分	分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	首都圏で個展を開催する若手美術家数	(目標)	-	-	-	(2)	(2)	(2)	(2)	公募による選定 2名/年			
		実績				2							
活動指標	応募者数	(目標)	-	-	-	-	-	-	-				
		実績				24							
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
応募者24名から、若手美術家を2名選定。首都圏での個展を開催。				当初の予想より多くの応募があったことから、慎重かつ積極的に作家を審査する必要があるため、審査会経費を増額した				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

音楽を活用したまちづくり推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営			経過年数					2 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] これまでの芸術文化活動は、ホールなど施設の中での発表・鑑賞が中心であり、広く一般に享受されてこなかった。音楽を活用したコミュニティを形成することにより、芸術文化に親しむ環境が必要となっている。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 株式会社ヤマハミュージックジャパンが実施する音楽の街づくり「おとまち」のノウハウの提供や運営協力を得ながら、まちなかでいつでも音楽が聞こえるまちづくりを推進する。												
[事業内容] (1) 音楽サークルづくりや発表に対する支援 ・音楽に興味のある若い世代のアマチュアプレイヤーの掘り起こし ・掘り起こしたアマチュアを(3)へつなげるほか、身近なグループづくりを支援 (2) 幅広い世代が気軽に参加できる楽器体験会の開催 ・社会人、学生バンド等のアマチュアが集う発表会や、それにあわせた楽器体験会を開催し、(3)へ誘導 (3) 音楽サークルの運営支援 ・住民交流やホール利用促進のため、意欲あるホール運営者による住民公募の楽団・バンドを設立 ・各楽団は市町ホールにおいて日々の練習を実施、発表会を開催。他市町の希望者受入れ ・参加者に対する無償楽器貸与、指導者派遣等による楽団等の運営支援												
[受益者] 県内の文化活動団体等						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

音楽を活用したまちづくり推進事業

主要事業への記載		■	計上段階	令和3年度	知事	令和2年度	—	元年度	—	要求書	頁		
区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務		事業区分	■ 実行予算		事業開始年度		
事業実施方法	直営					□ 法定受託事務			□ 補助金			R3 年度	事業終了予定年度 (見直し年度)
補助率									□ その他			経過年数 2 年	
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等						
予算額	28,160				28,160								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由						
当初予算額の推移					21,000	28,160	市町ホールを拠点とするアマチュア楽団・バンド等の追加設立による増						
2月現計予算額の推移					21,000								
決算額の推移													
前年度までの主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	サークル参加者数 (目標) 実績				(50)	(70)	(100)	(170)	音楽活動を開始した県民数 10人/サークル				
活動指標	団体設立数 (目標) 実績				(5)	(7)	(10)	(17)	アマチュア音楽サークルの設立				
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
当初予定していた坂井市では、コロナ対応により団体設立に至らなかったが、その他の鯖江市(吹奏楽)、越前市(ラテン音楽)、美浜町(軽音楽)、若狭町(ウクレレ)において団体を設立出来た				各市町に事業概要を説明し、新たに希望のあった市町ホールでのサークル設立・運営を支援する				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

まちかどヤング・アート・カレッジ開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営			事業経過年数					3 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
街の中に美術作品などのアートに触れる空間が少なく、気軽にアートに出合える場が必要となっている。						「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)						
[事業目的] 「まちかど」で気軽にアートに触れ楽しむことができる空間をつくり、アートによる人の交流拡大や地域の活性化を図る。また、学生にアートを活用した地域振興プランを実施する手法を学んでもらうことで、担い手の育成を図る。												
[事業内容] (1) 次年度に向けた計画(R3) ・アート作品展示・装飾が可能な場所、ワークショップ開催場所等の検討 ・ワークショップなど期間中のイベントの計画 ・招聘するアーティストの選定 (2) 学生・アーティストによるアートイベントの実施(R4) ・学生・アーティストによるワークショップ・アートイベントの開催 ・アーティスト・地元住民による作品展示 ・ワークショップ・アートイベント・展示等を巡るための散策マップの作成												
[受益者] 開催地域の地元住民、県内外の観光客および店舗等						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

まちかどヤング・アート・カレッジ開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	673				673									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移				320	320	673	令和4年度は、これまで策定した計画に基づきイベントやワークショップを開催							
2月現計予算額の推移					320									
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	事業に関わった学生数 (目標) 実績			—	(20)	(20)	(20)	(20)	イベント開催に際し、準備・運営にかかわる学生					
				—	40									
活動指標	計画策定数及びイベン ト・研修・ワークショッ プの開催数 (目標) 実績			—	(1)	(2)	(2)	(2)	R3: 計画策定数 R4: イベントに合わせた研修会・ワークショップ実施回数					
				—	1									
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
大学の授業と連携し、計画策定を進めた。				令和3年度に策定した計画をもとに、アート空間をまちかどで出会う場を創出する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

アートプロジェクト支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営													
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [3 楽しみを広げる(創造力)] 政策 [12 文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]							
[解決すべき問題・課題] アートの力を活用した地域の活性化を図るため、県内芸術文化団体を支援する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」を行うNPO認証数(内閣府) 9.1件/人口(45位/47都道府県)								
[事業目的] 県内アーティストや芸術文化団体の活動を広く発信するとともに、専門家による相談窓口を設置し、団体の活動支援を行うことで、アートを活用した地域活性化を図る。														
[事業内容] (1) 県内アーティストの活動等を発信するホームページの創設 (2) 相談窓口の設置、相互交流を図る研修会の開催 ・アートプロジェクト(アートを活用した地域振興策)を実施、または実施を検討している企業、団体等が相談できる専門の窓口を設置(月1回) ・ワークショップやグループディスカッションなど、団体等の相互交流を図る研修会を開催 (3) アートプロジェクトの支援 ・地域の魅力向上や社会課題の解決につながる、アートを活用したまちづくりに取り組む事業に奨励金を支給														
[受益者] 県内の文化活動団体等						[想定される受益者数]								
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (実績)	事業名	アートプロジェクト相談支援事業 芸術文化活動推進事業、若者文化活動心援事業 アーティスト滞在型活動支援事業			関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)							
市町との連携状況						他県の状況								

アートプロジェクト支援事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営													
補助率														
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等								
予算額	32,037				32,037									
[予算額の推移等] (単位：千円)														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						32,037								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由														
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	芸術文化活動に参加した 県民の数 (目標) 実績					(60,000)	(60,000)	(60,000)	県補助事業への参加者数					
活動指標	事業採択数 (目標) 実績					(13)	(13)	(13)	事業採択数13件					
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				

ふくいのミュージアム連携事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R4 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度
事業実施方法	直営、補助								事業経過年数	1 年		
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[楽しみを広げる(創造力)]				関連する県の計画等		[]				
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
県内全域に分布する博物館・美術館において、これまで歴史や文化、博物館・美術館に興味・関心がなかった人も訪れてみたくなるような働きかけが必要。						県内博物館・美術館数 82館 博物館・美術館を巡るバスツアー運行本数 令和3年度：3本（トライアル）						
[事業目的]												
県内の博物館・美術館の連携を支援し、県民の博物館・美術館に対する興味関心の向上を図るとともに、博物館・美術館を核とした県内周遊を促進。												
[事業内容]												
(1) ホームページ（FUKUI MUSEUMS）のリニューアル												
(2) 県内博物館・美術館をめぐるバスツアーの開催支援												
<ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ・ストーリーに沿って県内博物館を巡るバスツアーの開催に対する補助 ・ 補助対象者：民間バス会社や旅行会社 												
[受益者] 県内外観光客、県内旅行者						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

ふくいのミュージアム連携事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R6 年度		
事業実施方法	直営、補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	3,666					3,666										
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						3,666										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	バスツアー参加者数 (目標) 実績					(1,600)	(1,600)	(1,600)	バスツアー1件あたり参加者20名							
活動指標	バスツアー数 (目標) 実績					(80)										
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	S42 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	直営			経過年数					56 年			
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [03 まちがイキイキ] 政策 [01 北陸新幹線の最大活用を開業後も責任を持って構想し実行]				関連する県の計画等		[教育振興基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 一乗谷朝倉氏遺跡は昭和42年以来継続して発掘調査・調査結果に基づく整備事業により、広範囲で本物の遺構を露出展示するなど大きな成果をあげてきたが未 解明な点も多く、今後も継続して発掘調査・整備等を実施する必要がある。						[問題・課題を表す客観的データ] 環境整備済面積：約15ha (特別史跡指定範囲【約278ha】の5%)						
[事業目的] 全国的にもまれな規模と内容をもつ戦国城下町である一乗谷朝倉氏遺跡について、「朝倉氏遺跡研究協議会」の指導のもと、その価値を高めるために発掘調査および環境整備を実施し、福井県民をはじめ全国から訪れる見学者のために、生きた歴史教育・生涯学習の場として活用される史跡公園の整備を目指す。												
[事業内容] 「特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡発掘・整備基本計画」「特別名勝一乗谷朝倉氏庭園保存活用計画」に基づき、発掘調査および環境整備等をおこなう。 ○発掘調査事業・・・・・・・・・・学術的な発掘調査を実施し、戦国城下町の人々の生活様式等を解明する。 ○復原整備事業・・・・・・・・・・発掘調査成果を受けて、検出した遺構の保存を行いながら、当時の様子を復原する。 ○重要文化財保存修理事業・・・・・・・・朝倉氏遺跡出土の重要文化財の保存修理を行う。												
[受益者] 一般県民						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況	発掘・環境整備は県が実施し、福井市が管理を行う。					他県の状況						

一乗谷朝倉氏遺跡整備・活用推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	S42 年度 経過年数 56 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R8 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	125,179	62,564	39,000			23,615	国庫：国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金 起債：公共事業等債、行革債					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		47,963	46,753	47,070	97,590	125,179						
2月現計予算額の推移		43,175	36,252	17,905	60,270							
決算額の推移		42,829	35,060	17,825								
前年度までの 主な増減理由	協議会にて策定された短期計画に基づき実施											
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	報告書刊行数 (目標) 実績	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1) 1	(1)	(1)	発掘・復元状況の報告書を発行			
活動指標	発掘・復原面積 (目標) 実績	(1,620) 1,690	(580) 500	(351) 50	(321)	(450)			研究協議会にて策定された短期計画に基づく			
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・斜面崩落部の発掘調査 ・西山光照寺跡整備工事 ・劣化対応調査 				短期計画に基づき、事業実施				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課		課長名	三武 紀子			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S59 年度 経過年数 39 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度			
事業実施方法	直営														
補助率															
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる] 政策 [文化・スポーツがふくい の活力]				関連する県の計画等		[]								
[解決すべき問題・課題] 常設展示だけでは伝えきれない福井の歴史、民俗、文化について、県内外の他館の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。						[問題・課題を表す客観的データ] 企画展観覧者数 5,771人 (R3) 6,555人 (R2)									
[事業目的] 資料収集、調査研究の成果をもとに展示、公開することで、福井県の歴史、民俗、文化を県民および県内外からの来館者へわかりやすく伝え、歴史文化への関心を高める。															
[事業内容] (1) 企画展開催事業 夏季特別展「ふくいの御乗物と街道(仮)」 令和3年7月23日(土)～8月31日(月) 北陸新幹線延伸への期待を高めるきっかけとするべく中近世の越前・若狭の交通の歴史を紹介 秋季特別展「百貨店の近代(仮)」 令和3年10月22日(土)～11月27日(日) 福井駅前の再開発にあわせ、まちづくりの上で中核となる百貨店の歴史を紹介 フレキシブル展示 常設展示の定期的な入れ替えを実施 (2) 企画展準備事業 令和5年度以降の企画展開催のための調査、資料借用のための交渉を実施															
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 6,555人(令和2年度実績)									
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 歴史博物館資料収集事業、歴史博物館調査研究事業 (役割分担) ・歴史博物館資料収集事業 資料収集事業で収集した資料を企画展等で公開 ・歴史博物館調査研究事業 調査研究事業での成果を企画展等で公開							
市町との連携状況						他県の状況									

歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S59 年度 経過年数 39 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等					
予算額	17,075			(使・諸) 5,675	11,400		観覧料2,875千円、図録販賦料2,800千円					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		42,938	14,319	17,232	15,311	17,075	企画展の内容に基づく増額					
2月現計予算額の推移		42,938	14,319	18,032	15,311							
決算額の推移		42,681	13,498	14,110								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ H30年度 幕末明治福井150年博メイン会場の展示として実施 ・ R2年度 会計年度任用職員経費の減（政策推進Gで要求） ・ R3年度 企画展の内容に基づく減額 										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標)	(15,000)	(8,500)	(8,500)	(9,000)	(9,000)	(9,000)	夏季特別展 5,000人 秋季特別展 4,000人			
		実績	13,920	8,335	6,555	5,771						
活動指標	企画展開催件数	(目標)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)				
		実績	2	2	2	2						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「福井県野球物語」入館者2,761人 ・ 「景色の歴史をたどる」入館者3,010人 				令和3年度は、コロナ禍もあり入館者目標に達しなかったが、引き続き広報に努めるとともに、新幹線開業にちなんで前近代の乗り物に関する企画展や、福井駅前再開発に絡めた百貨店に関する企画展を開催し誘客促進を図る				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了		
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

若狭歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	S57 年度 経過年数 41 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる] 政策 [文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 常設展示だけでは伝えきれない福井県若狭地方の歴史、民俗、文化について、 県内外の資料も用いながら来館者へわかりやすく伝える。						[問題・課題を表す客観的データ] R2「金色の煌めき」入館者数 2,397人 R3「森と出会った縄文人」入館者数 2,213人						
[事業目的] 調査研究の成果をもとに若狭地方の歴史・民俗・文化をわかりやすく公開・紹介することで、県内外からの来館者や地域の方々の歴史文化への関心を高める。												
[事業内容] (1) 企画展開催事業 特別展「中世若狭の「まち」(仮)」 令和4年10月7日(金)～11月6日(日) 中世後期にスポットを当て、嶺南地域の代表都市である小浜・敦賀を中心に、その成立や発展の過程を地域に残された古文書や絵図から紹介 (2) 若狭のみほとけフレキシブル 仏像公開に特化した展示室において、継続して定期的に仏像の展示替えを実施												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 2,397人(令和2年度実績)						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・ 役割分担		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 若狭歴史博物館調査研究事業 (役割分担) ・若狭歴史博物館調査研究事業 研究事業での成果を企画展等で公開				
市町との連携状況						他県の状況						

若狭歴史博物館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	S57 年度 経過年数 41 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	9,857			(使・諸) 1,572	8,285	観覧料 892千円、図録販賦料等 680千円						
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		12,386	17,871	13,684	11,970	9,857	企画展の内容に基づく減額					
2月現計予算額の推移		12,386	13,552	12,154	11,159							
決算額の推移		8,875	12,907	11,437								
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度 若狭歴史博物館開館1周年記念特別展を開催 ・ H31年度 リニューアル5周年記念特別展を開催 ・ R2年度 会計年度任用職員経費を政策推進Gで要求 ・ R3年度 企画展の内容に基づく減額 										
[成果指標等の推移]												
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標)	(3,500)	(5,000)	(3,000)	(2,800)	(2,800)	(3,000)	(3,000)	「中世若狭の「まち」」 2,800人		
		実績	2,278	2,078	2,397	2,213						
活動指標	企画展開催件数	(目標)	(1)	(1)	(1)	(1)				企画展1回開催		
		実績	1	1	1	1						
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
R3「森と出会った縄文人」入館者数 2,213人				令和3年度は、コロナ禍もあり入館者目標に達しなかったが、引き続き広報に努めるとともに、できるだけ「地のもの」を紹介しながら中世の小浜・敦賀に関する企画展を開催し若狭にのこる豊かな歴史や文化財を身近に感じてもらい、誘客促進を図る				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	2,113	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		

若狭歴史博物館嶺南美術展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる(創造力)] 政策 [文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]					
[解決すべき問題・課題] 嶺南地域には美術館がなく、嶺北と比べると、本物の美術に触れる機会が少ない。						[問題・課題を表す客観的データ] R2「夏休み親子で楽しむ美術館」 入館者数 3,249人 R3「夏休みは博物館で昆虫採集！」入館者数 3,505人						
[事業目的] 若狭歴史博物館において、美術館の企画展レベルの質の高い美術展を開催することで、本物の美術に触れる機会の拡大と嶺南への誘客促進を図る。												
[事業内容] 嶺南美術展の開催 「肉筆浮世絵の世界～今西コレクションより～」(仮称) 内 容 : 夏休み期間に、熊本県立美術館が収蔵する今西コレクションの肉筆浮世絵を中心に展示する。福井では数少ない肉筆浮世絵を嶺南で見ることができる。 開催期間 : 令和4年7月30日(土)～8月28日(日)30日間 会 場 : 若狭歴史博物館 関連事業 : 記念講演、ワークショップ												
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 3,505人(令和3年度実績)						
前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 嶺南企画展開催事業(美術館) (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

若狭歴史博物館嶺南美術展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	県				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業開始年度	R2 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	直営											
補助率												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等						
予算額	11,243			(使) 1,600	9,643							
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由				
当初予算額の推移						10,541	11,243	美術展の内容に基づく増額				
2月現計予算額の推移						10,399						
決算額の推移												
前年度までの 主な増減理由		令和3年度 美術展の内容に基づく増額										
[成果指標等の推移]												
区分			平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	美術展観覧者数	(目標) 実績				(4,750) 3,505	(4,750)			「肉筆浮世絵の世界～今西コレクションより～」(仮称) 入館者数目標 4,750人		
活動指標	連携イベント等開催数	(目標) 実績				(3) 3	(3)			・記念講演 ・ワークショップ ・嶺北からのバス運行		
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価					実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価			
R3「夏休みは博物館で昆虫採集！」 入館者数 3,505人					令和3年度は、コロナ禍もあり入館者目標に達しなかったが、引き続き広報に努めるとともに、小浜にゆかりのある「今西コレクション展」を開催することにより、誘客促進を図る				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
									<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
									<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

県立美術館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子		
事業主体	福井県、実行委員会				事務 区分	■ 自治事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業開始年度	S52 年度	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度	
事業実施方法	直営、負担金								事業区分	事業開始年度			経過年数
補助率	-								事業区分	事業開始年度			46 年
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [楽しみを広げる] 政策 [文化・スポーツがふくいの活力]				関連する県の計画等		[]						
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]							
普段接することのできない美術作品の魅力を来館者へわかりやすく伝える						企画展観覧者数 39,424人 (R3) 31,036人 (R2)							
[事業目的]													
国内外の優れた美術品や県内の美術作品を公開・紹介することで、県民が一流の名品を鑑賞する機会を拡大する													
[事業内容]													
(1) 企画展開催事業 <ul style="list-style-type: none"> ① 「美人画コンテスト」展 令和4年4月28日(木)～6月12日(日) 個人収集家の珠玉のコレクションで美人画の系譜をたどり、女流画家の巨匠・上村松園の作品を中心に、華やかな美人画の世界を公開 ② 「戸田正寿」展 7月15日(金)～8月31日(水) 福井出身の日本を代表するアートディレクター／グラフィックデザイナー戸田正寿の集大成展 ③ 「受け継がれるしあわせな時間 ミリオンセラーの絵本たち」 9月30日(金)～11月6日(日) 日本国内で販売部数100万を超える絵本を中心に、それら長く愛されるロングセラーの絵本や、著名な児童画家、洋画家、日本画家による絵本原画、世界の名作絵本原画を加え紹介 													
(2) 美術館魅力アップ事業 駐車場不足解消のため、繁忙日に歴史博物館の駐車場を利用したシャトルバスを運行													
(3) 企画展準備事業 令和5年度以降の企画展開催のための調査・資料借用交渉を実施													
[受益者] 県内外からの来館者						[想定される受益者数] 31,036人(令和2度実績)							
前事業の有無・実績		<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績)				事業名		<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (役割分担)		美術館資料収集事業 ・美術館資料収集事業 資料収集事業で収集した資料を企画展等で公開			
市町との連携状況						他県の状況							

県立美術館企画展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	一部内	部局名	交流文化部	課名	文化課	課長名	三武 紀子	
事業主体	福井県、実行委員会				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	■ 実行予算 □ 補助金 ■ その他	事業開始年度	S52 年度 経過年数 46 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度
事業実施方法	直営、負担金											
補助率	-											
区分	事業費	国庫	起債	その他		一般財源	国庫、その他財源の名称等					
予算額	26,426			(使・諸)	15,816	10,610	観覧料 13,350千円、諸収入 2,466千円					
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由					
当初予算額の推移		64,880	62,291	74,743	57,947	26,426	企画展の内容に基づく減額					
2月現計予算額の推移		59,047	61,387	74,743	57,947							
決算額の推移		58,841	59,287	63,743								
前年度までの主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・ R2年度からは、会計年度任用職員経費を政策推進Gで要求 ・ R2年度は、嶺南で企画展を開催 ・ R3年度は、嶺南での企画展開催経費の減額（別途予算措置） 										
[成果指標等の推移]												
区分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	企画展観覧者数	(目標) (101,810)	(68,000)	(43,250)	(48,880)	(13,010)	(13,010)	(13,010)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「美人画コンテスト」展 4,645人 ・ 「戸田正寿」展 2,860人 ・ 「ミリオンセラーの絵本たち」展 5,505人 			
		実績 79,354	46,890	31,036	39,424							
活動指標	企画展開催件数	(目標) (3)	(2)	(4)	(4)	(3)	(3)	(3)				
		実績 3	2	4	4							
[事業の評価]												
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ウッドワン美術館名品展」入館者数 5,279人 ・ 「再興第105回院展」入館者数 2,880人 ・ 「オーダー・スタイル 飾らない生き方」入館者数 25,403人 ・ 「岐阜県美術館名品展」入館者数 5,862人 				令和3年度は、コロナ禍もあり入館者目標に達しなかったが、引き続き広報に努めるとともに、企画料が高額になりやすい巡回展の回数を減らし、館藏品や近県からの借り受けを中心としたコロナ禍に対応した企画展を開催する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額	
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	31,521	
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他		